

人権感覚を高める活動（アクティビティ） 「今、熱中していること」

1 活動のねらいや意義

児童生徒どうしの親近感を高めるとともに、相手を大切にしたい聴き方を体験することで話を聴くことの大切さに気付く。

熱心に話を聴いてもらうことで、自己肯定感が高まることに気付く。

2 活用場面

学級活動・ホームルームにおいて、自己紹介を兼ねた仲間づくりの活動として行う。

傾聴のスキルを学習する手段として行う。

3 準備物

特になし

4 活動の進め方（10分）

学習活動	指導上の留意事項
1 隣の人とペアになる。	すでに人間関係のある場合は、固定化したペアにならないよう工夫する。
2 「今、熱中していること」を入れた自己紹介を相互に行う。	
3 はじめに、一方の人が自己紹介をする。持ち時間は1分ないし2分とする。もう一方の児童生徒は、心を傾けて、うなずくなど、一生懸命聴く。	時間は、活動全体の長さや、参加人数によって調節する。長すぎると緊張感がなくなるので注意する。 相手の話を聴く態度（傾聴のスキル）について指導する。
4 自己紹介が終わったら、聞き手の人は、感想を伝える。	話し手の自己肯定感を高めるような感想になるよう、批判や非難は行わないよう指導する。
5 今度は、役割を入れ替えて、同じように繰り返す。	
6 授業者から、聴く姿勢、態度の大切さについて、まとめの話を聴く。	